

令和6年度 芸術科「書道Ⅲ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科3学年2～8組選択者
教科書	書Ⅲ（光村図書）	副教材等	筆・墨・書道用紙等

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	1 漢字の書	・漢字の歴史と変遷	・書体の変遷について学び、書道史の概要を理解する。	・ワークシート ・ワークシート ・清書作品	
			・書論	・書の歴史と書論について理解を深める。 ・書論を踏まえて書の芸術性について考え、その美しさを味わう。		
			・楷書 「出師表」 「鄭長猷造像記」	・書体の変遷の上での楷書の位置づけを理解し、執筆法・運筆法を習得する。 ・楷書を構成する様々な要素について理解を深める。 ・楷書の古典の普遍的価値や、書論を踏まえた書の芸術性について考える。		
	5		・行書 「喪乱帖」 「伊都内親王願文」	・書体の変遷の上での行書の位置づけを理解し、行書の執筆法・運筆法を習得する。 ・「双鉤填墨」の技法と古典について学習する。 ・用筆の俯仰を捉える。中国唐代の一典型を日本でどのように昇華したか考察する。		・ワークシート ・作品
			・草書 「草書諸上座帖卷」 長条幅作品	・書体の変遷の上での草書の位置づけを理解し、草書の執筆法・運筆法を習得する。 ・字面の粗密、用筆のリズムから生まれる躍動感を、臨書を通して体験する。 ・狂草について理解し、書法の妙味を感じ取る。		・ワークシート ・作品
	6		・隸書 「開通褒斜道刻石」 「題昔邪之盧壁上」	・書体の変遷の上での隸書の位置づけを理解し、隸書の執筆法・運筆法を習得する。 ・古隸のおおらかな表現美を捉える。 ・「揚州八怪」中心人物の特異な隸書を通して、漢碑の踏襲とその表現について学習する。		・ワークシート ・作品
			・篆書 「散氏盤」	・書体の変遷の上での篆書の位置づけを理解し、篆書の執筆法・運筆法を習得する。 ・標準的な金文と異なった古典の臨書を通して、造形的楽しさを味わう。		・ワークシート ・作品
7	・ペーパーテスト	・漢字の書の歴史について、ペーパーテストを行う。	・ペーパーテスト			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9	2 刻字	刻字 (彩玉ボード)	・これまでに学習した古典の中から一つ選択し、それを基盤として姓名または名を刻す。 ・材質や彫り方、彩色など、多彩な魅力を含んでいることを理解する。	・ワークシート ・草稿 ・作品	
	10	3 篆刻	篆刻（三分印）	・印章を用いて名前の一文字を印材に刻す。 ・自身の表現に適した刀法を習得する。 ・制作した作品について鑑賞し、制作意図や工夫を発表したり、相互修正したりする。	・ワークシート ・草稿 ・作品	

	11	4 仮名の書	「升色紙」 「桂宮本万葉集」	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立と発展について学び、日本の文学に与えてきた影響を考察し、日本文化について理解を深める。また、料紙について学び、平安時代に紙がどのような役割を果たしていたのかについて理解する。 文学と書作品の関連性について考察する。 繊細な仮名の美と、余白美について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 作品
	12	5 仮名の書 (創作)	書き初め	<ul style="list-style-type: none"> 書き初めが日本の人々の暮らしの中でどのような役割をはたしてきたのかを考察し、伝統文化について理解を深める。 これまでに学習した仮名を基盤として書き初め作品の制作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 草稿 作品
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	6 漢字仮名交じりの書	漢字かな交じりの書 (半切) (書道パフォーマンス)	<ul style="list-style-type: none"> 漢字仮名交じりの書の名筆を鑑賞し、古典に基づいた表現の幅の広がり进行学习する。 構成や表現方法を工夫し、漢字仮名交じりの書の作品制作をする。 テーマを決めて撰文し、言葉と表現とのかかわりについて考えを深める。 制作した作品について鑑賞し、制作意図や工夫を発表したり、相互批評したりする。言葉と表現とのかかわりについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 制作プリント 作品 発表 鑑賞シート

3 評価の観点

知識・技能	書の表現方法や形式とその多様性について理解している。 書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身につけている。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて深く構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度がある。

4 評価の方法

<p>知識・技能…ワークシート、草稿、制作過程、作品 思考・判断・表現…ワークシート、草稿、制作過程、作品 主体的に学習に取り組む態度…ワークシート、書作態度、発言内容 以上の3観点に基づき総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材の正しい扱い方を理解し、丁寧に使用しましょう。 提出物が多いので、毎時間の授業に集中して取り組み、課題をやりきるように心掛けて下さい。 作品の良し悪しだけでなく、作品制作の過程や鑑賞への参加態度、授業で配付したワークシートなども評価の対象です。どの活動にも積極的に取り組みましょう。
--